

2026年3月21日 神奈川銀杏会・三土会

講演の概要と自己紹介

山田 晴通
東京経済大学
コミュニケーション学部 教授

【講演の概要】

演題：昭和のポピュラー音楽について考える

近年、「昭和歌謡」というキーワードで、1980年代以前のポピュラー音楽が取り上げられるケースが目立つようになってきています。このキーワードを入口に、私たちがある種の懐かしさを覚えながら数十年前の音楽を聴き、歌い、演奏することに、どのような意味があるのか、という観点からお話をしたいと思います。

続いて、もうひとつのテーマとして、「記憶」と「記録」をキーワードとして、ポピュラー音楽という概念の再構成を検討したいと思います。ポピュラー音楽は、音のモノへの固着、大量複製といった技術の開発と普及の結果、商品としての成功を目指して市場に供給され、享受される音楽のことであると、一応の学術的な捉え方ができるのですが、これが20世紀末以降のデジタル化、ネットワーク化の結果、どのように変化しようとしているのかについて、お話しできればと思います。

実は、あまり多くは楽曲の事例を流したりしないことになりそうなのですが、ぜひこの曲を取り上げてほしいとか、リクエストがありましたら、下記の公開アドレスまでご連絡ください。

【自己紹介】

東京大学：

1977年、文科II類入学。1981年、教養学科イギリス分科卒業。1983年、理学系研究科地理学専門課程修士課程修了（理学修士）。1986年、同博士課程退学。1989年、学位取得（理学博士）。あわせて9年間大学におりました。ちなみに、1985年に当時の新聞研究所研究生課程を修了しております。

1990年に大学院の集中講義、1994年と1996年に教養学科、1999年に文学部で半期科目の非常勤講師として教鞭を取りました。

現職：

東京経済大学コミュニケーション学部教授として、おもにメディア論関係の授業を担当

しております。また、非常勤講師として、2003 年以来 20 年以上、青山学院大学で、もっぱらポピュラー音楽の歴史に特化した「音楽史」の授業を担当しています。

神奈川県とのご縁：

現在は、東京・小平市と長野・安曇野市の二重生活をしております。また、1958 年に生まれた場所は、両親の出身地である福岡市でした。しかし、亡父が日本ビクターに長く勤めており、横浜市の新子安の工場や大和市の研究所でおもに勤務していた関係で、生まれた後すぐから 1960 年まで金沢文庫、その後、一時期、大阪・豊中市に住んだ時期を挟んで、1966 年から横浜市の三ツ沢南町にあった社宅に住み、1972 年から大船に転居しました。最初の結婚を機に、1983 年に藤沢市の湘南ライフタウンに転居しましたが、最初の就職を機に 1986 年に長野県に転居し、1995 年に藤沢に戻ったものの、離婚を機に 2003 年以降は、安曇野市に住民票を置いています。両親はすでに他界しましたが、築 54 年の実家は、まだ大船に残っています。

出身校は小学校が横浜市立三ツ沢小学校、中学・高校が栄光学園です。栄光学園では 25 期生で、豆生田さんと同じ部活の 1 年後輩になります。当時から諸々楽しくご指導いただきました。同期同窓、現役で東大に進んだ者が 40 余名いた時代でしたが、その中で在学中の成績がダントツで悪かったのに合格してしまった幸運な人間です。

連絡先：

以下は公開している情報です。

yamada@tku.ac.jp

〒185-0021 東京都国分寺市南町 1 丁目 7-34 東京経済大学

おまけ：

ウィキペディア日本語版に記事「山田晴通」があります。

ウィキペディア日本語版では、日常的に記事を作成・編集している利用者です。

Facebook で、毎日日記を公開しています。

<https://www.facebook.com/harumichi.yamada.77>

研究室のウェブサイトは、1990 年代のテイストのままです。

<http://camp.ff.tku.ac.jp>